

鑄

おん チユウ
いる

15画
金 鈔 鈔 鈔 鈔

なりたち 旧字体は鑄。長く続く意味の壽と金との会意形声字。金属の塊を一つに溶かし、鑄型に流し込んで一つの器物を作ることを表した字。鑄ること。



▼鑄る。金属を溶かして型に流し込み、器物を作る。
鑄物：金属を溶かし、型に流し込んで器物を作ること。
また、作った器物。
鑄型：鑄物を作るための型。
【用例】鑄型にはめる。(無理に決まり切った形式を押し付けること。)

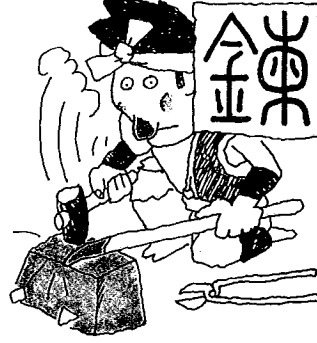
鑄造：鑄物を作ること。
鑄金：鑄造と同じ意味。
鑄鉄：鉄。一・七パーセント以上の炭素を含む鉄。鑄物の原料。
新鑄：新しく鑄造すること。
また、新しく鑄造した物。
改鑄：改めて鑄造し直すこと。
【用例】小判の改鑄。

錬

おん レン
とめる

16画
金 鈔 鈔 鈔 鈔

なりたち 旧字体は錬。束と八(分ける意味)とで束の中から良い物を選び分ける意味の束と、金との会意形声字。鉱石を溶かして金属外の不純な物を取り除くこと。金属を焼いたり打ったりして鍛えること。これを「ねる」という。



▼ねる。金属を鍛える。
鍛錬：金属を打って鍛えること。束と、修錬を積んで心身を鍛えること。「鍛錬」とも書く。
【用例】鍛錬の成果。
精錬：製錬した金属から不純物を取り除いて上質の金属にする事。
製錬：鉱石から金属を取り出す操作のこと。
【例】製錬所
錬金術：中世ヨーロッパで盛んに行われた、金属を金に変えようと試みた化学技術。

▼ねり鍛えてよいものにする。
錬磨：ねり鍛えてわざを磨くこと。
【例】百戦錬磨
錬成：立派にしようとする鍛えること。
【例】錬成道場
修錬：精神や技芸などをねり鍛えること。「修練」とも書く。
【用例】修錬のたまもの。

鍛

おん タン
きたえる

17画
金 鈔 鈔 鈔 鈔

なりたち 一段ごとに高くなる意味の段と、金との会意形声字で、金属を火に入れたり打ったりして段々に質を高めることを表した字。鍛えねること。鍛えねる。



▼鍛える。金属を熱して打ち、質を高める。
鍛工：金属を熱して打ち鍛えること。また、その職人。
かじ屋。
鍛造：金属を熱して打ち伸ばし、必要な形にすること。
また、その作業。

鍛鉄：①鉄を熱して打ち鍛えること。②鉄に酸化鉄を混ぜて炭素を少なくした鉄。
心身などを鍛える。
鍛錬：訓練や修養によって、心身や技能などを立派にすること。「鍛練」とも書く。

練

おん レン
ねる

14画
糸 紵 紵 紵 紵

なりたち 旧字体は練。束と八とで、束の中から良い物を選別する意味を表した束と、糸との会意形声字。生糸を灰汁(あ)で煮て柔らかくし、美しい絹糸にすること。これを「練る」という。



▼絹糸を練る。生糸をあくで煮て柔らかくし、つやを出す。
練り絹：生絹(生糸を練らずに織った絹)を練って柔らかくした絹。
かした絹。
▼良い物を選ぶ。よりわけける。
精練：動植物の繊維から混じり物を取り除き、純度を高めること。
▼同じことを繰り返す。
とによつて良くする。
練習：学問や技能を身につけるため、繰り返し行うこと。
【例】練習問題

▼練習問題
練達：練習の結果、その技術などが高度な境地に達していること。
【例】練達の士。
熟練：そのことによく慣れていて上手なこと。
【例】熟練工
洗練：あか抜けして、優雅なものにすること。
よみかた 練炭・訓練・試練

錬

鑄

鍛